



山下市長から委嘱状を手渡される小泉祐一郎会長

伊豆の国市をより良くするために

10月11日 伊豆の国市総合計画審議会を開催

第2次伊豆の国市総合計画の後期基本計画策定にあたり、これまでの取組に対する評価や後期基本計画策定に向けた意見を伺うため、伊豆の国市総合計画審議会をあやめ会館で開催しました。

審議会では、委員一人ひとりから自分が所属する団体の分野に関する意見を中心に、今後の伊豆の国市の発展に向け、幅広い分野での意見を出していただきました。

子どもたちが未来の温泉場を考える

10月15日 長岡南小5年生が「景観まちづくり」を学ぶ

市の景観を学習し、歴史ある温泉街の街並みについて考えることを目的に、「伊豆の国市景観まちづくり学習」が、長岡南小学校5年生を対象に行われました。

児童は、市の景観への取り組みや、昔と今の景観の違いについて学んだ後、グループに分かれて、長岡温泉や古奈温泉を巡り、現在の街並みの状況を観察しました。

参加した児童は、「景観が何からできているかわかった」と楽しみながらも真剣に学んでいました。



フィールドワークの様子(長岡温泉場通り)



配信に参加した小栗さくらさん

歴史について熱く語る

10月2日 YouTube Live「HOJO BASE」を開催しました

10月2日、YouTube ライブ配信イベント「HOJO BASE」を開催しました。歴史タレントの小栗さくらさん・小川さなえさん・武藤心平さん、またゲストとして、大河ドラマ「真田丸」放送時にプロモーションを担当していた上田市役所の青木卓郎さんが出演しました。2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送を前に、歴史や大河ドラマにまつわる熱いトークを展開しました。

災害時に備えるために

10月5日 防災カルタの完成報告会を開催

チーム防災いずのくにが、防災カルタの完成報告会をあやめ会館で実施しました。同団体は、災害に強いまちづくりを目指すことを目的に、市民提案型パートナーシップ事業の一環で、市と協力し活動しています。

今回完成した防災カルタは、分かりやすいイラストを使用し、読みれもリズムを工夫するなど、一時避難に対する備えを楽しく学ぶことができます。



防災カルタを楽しむ山下市長

連載 かんたん手話講座 ②0

FAX

障がい福祉課
☎ 0558-76-8007 FAX 0558-76-8029

「FAX」の手話は親指と小指を立てて受話器に見立て、反対の手を紙を送るように動かします。(写真は「私からあなたへFAXする」でず)聞こえない人にとってメールやFAXは電話に代わる大切な連絡手段です。お店などの問い合わせ先にはメールアドレスやFAX番号を掲載しましょう。また手話や文字の通訳を介して聞こえる人と聞こえない人が電話で話せる「電話リレーサービス」もあります。詳しくは日本財団のHP (<https://nftrs.or.jp/>) をご覧ください。



展示会場の様子

北条家と関連する文化財を展示

10月7日 企画展「北条義時がうまれた里『伊豆の国』の中世」

伊豆の国市郷土資料館(中央図書館2階)で、企画展「北条義時がうまれた里『伊豆の国』の中世」が11月28日(日)まで開催されました。

今回の展示では、当市にゆかりの深い北条義時を主人公とする2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放映に向けて、北条家に対する興味・関心が高まっていることから北条家と関連が深い市内の文化財などの写真パネルや遺跡出土品の展示を行っていました。

反射炉の内部を見学

10月9日 葦山反射炉保存修理工事現場説明会を開催

葦山反射炉では、令和2年度～令和3年度にかけて、劣化したれんがの交換や補修、補強鉄骨の塗装などを行う保存修理工事を実施しています。10月末の工事終了を前に、工事内容や作業の様子について市民などに知ってもらおうと、9日、現場説明会を開催しました。

この日は、市民など約70人が参加。参加者は、担当者の説明を受けながら、煙突部の修理箇所や、高さ約15.7mの煙突最上部を見学しました。



最上部から煙突内部をのぞく